



(写真2) 父：尚司さん、次女の夫：ブライアンさん

(写真1) 上段 次女：美里さん、長女：香里さん、三女：愛里さん
下段 母：仁美さん

京都嵯峨野産 「京のべっぴん甘恋トマト」 召し上がれ!!

京都市右京区の中村農園は、家族6名で営むトマトの養液栽培農家です。
栽培部門（父、次女の夫、三女）とカフェ・加工・直売部門（母、長女、次女）に分かれ、新しい農業経営のカタチをめざして取り組まれています。
今年度は中村農園の女性陣のアイデアをいっぱい盛り込んだおしゃれな加工品開発に取り組み、さらに農業経営を充実・発展させていきます。

有機栽培の野菜を直売所で販売

壇 美恵子さん(京都市伏見区久我)

壇さんは有機栽培した野菜を取引先や自宅前の直売所で売っています。また、京都駅ナカ「京のふるさと出会い市」では、「だん弥」の名称で販売されるエコファーマーの野菜、米がよく知られています。また、野菜の加工にも取り組み、研修生の受け入れも積極的に行っています。



ハーブの力で五感を通して喜びを!!

石原麻美子さん(京都市西京区大原野)



ガラス温室でハーブとガーデンシクラメンを栽培、ISボタニカの名前で販売されています。平成18年に新規就農として経営を開始、現在パート等5名を雇用する経営主です。小売りやユーザーが求める商品提供と契約出荷による安定経営を目指し、頑張っておられます。

生き生きとした農業に取り組めるよう心がけています

森田 啓子さん(京都市北区上賀茂)



約30年前に嫁ぎ、現在は夫婦で賀茂なすやトマトなどを栽培。以前の振り売りから、現在は地域の若手農業者と共同で契約販売をされています。また、賀茂なす生産部会での情報交換や小学生への食育など積極的な活動により、昨年度女性農業士に認定されました。現在、新たな特産品を目指して七草栽培にチャレンジ中です。

納豆餅加工で「農の匠」に認定

鳥居 美恵子さん(京都市右京区京北)

鳥居さんは京北地域の伝統食である納豆餅加工の技術と長年の伝承活動が認められ、平成26年度京都府農山漁村伝承優秀技能者(匠)に認定されました。山国さきがけセンターや京北ゼミナールハウスでの講習会の講師を務めるなど活躍されています。



懸崖菊をトピアリーに

清水 佑子さん(向日市)

懸崖菊と野菜苗農家に嫁いだ佑子さんは、懸崖菊のトピアリー(植物を人工的・立体的に形づくる造形物)を夫の幸雄さんとともに開発しました。今では各地のテーマパークや植物園等に様々なデザインのトピアリーを出荷され、重要な経営の柱になっています。



京都乙訓 管内の
活躍する 女性たち

京都市、乙訓地域で、
立場で活躍されている

農業・農村の様々な
女性を紹介します。

仲間と一緒に元気に活動!

京都市生活研究グループ連絡協議会

京都市生活研究グループ連絡協議会は、市の農業と農家の生活を守り



発展させるために女性グループが集まり発足された組織です。発足40周年を迎え、地域の料理を載せたレシピ集を編さんされました。今後はこのレシピを広めていくため、食育活動にも力を入れていきます。

これからも花菜産地を支えます!

長岡京花菜部会(花華の会)

長岡京花菜部会(30戸)の女性メンバーで構成されているのが「花華の会」です。花菜のパック詰め作業を主に担うのは女性です。先日はお互いの詰め方を見せ合う方法で「パック詰め研修会」を開催しました。これからも高い品質を維持していきます。



農業女子プロジェクトの紹介

女性農業者の視点を生かし、企業とコラボして新たな商品・サービス、情報発信の開発に取り組み、農業女子の定着、企業とのビジネス化、生産物の付加価値化を目指すプロジェクトです。全国の仲間と交流してみませんか?農林水産省主催。

詳しくは、ホームページ <http://nougyoujoshi.jp/> をご覧ください。

地域で大活躍

「頼れる農業士さん」

ベテランになっても新たなことを!

右京区の京北で農業をしておられる上野久美栄さん。実家は魚屋さんと野菜栽培の経験がありませんでした。そんな中、嫁ぎ先である夫の家の農業を手伝うこととなってはや30年。現在は夫婦と息子さんの家族3人で役割分担を行い、水稻をはじめ、枝豆、大豆など様々な品目を栽培しておられます。少し前から新しい品目としてナスの栽培も始められ、「これは一人で担当している。キズ果が多く、なかなかうまく作れないが試行錯誤しながらやっている。今の目標はきれいなナスを作ること。」とベテランになっても新たなことに頑張っって意欲的に取り組まれておられます。



「京都酒米振興プロジェクト 京都乙訓部会」の活動

米の需要が年々減少する中、地場の需要と結びついた米づくりをより一層進めようと、府内の酒造業者と連携した取組を強化するため、各市町・J A・京都府で構成する「京都酒米振興プロジェクト 京都乙訓部会」が平成26年3月に発足しました。

この部会では、酒造好適米「祝」と京都のオリジナル掛米用品種「京の輝き」の生産振興に取り組んでいます。

今年は、管内各地で初めて「祝」を栽培される方が多く、技術情報の発行や毎月の巡回、ほ場互見会の開催など関係機関をあげた取組を行いました。「祝」は草丈が長く倒伏しやすいなど栽培面での不安もあり、地域による生育差もありましたが、概ね順調な生育となり、府内全体で酒造業界からの需要量を確保することができました。

来年度は、栽培しやすい「京の輝き」を中心に作付面積を拡大し、需要量に応えられるよう取組を進める予定です。



ほ場互見会の様子（「祝」）



ほ場互見会の様子（「京の輝き」）

新任の農業士さん よろしくお願ひします

【指導農業士】

【女性農業士】

【青年農業士】



田中伸和さん
(京都市南区)



中井桂子さん
(京都市伏見区)



井本剛史さん
(京都市北区)

退任の農業士さん ありがとうございます

【指導農業士】 田中義雄さん(京都市山科区)

【青年農業士】 玉田芳弘さん(京都市北区)

高橋靖和さん(長岡京市)

発行
京都府京都乙訓
農業改良普及センター

〒615-0846 京都市右京区
西京極徳大寺団子田町15
TEL 075-315-2906
FAX 075-315-2909

<http://www.pref.kyoto.jp/kyotootokuni-f/>

平成27年2月10日発行